東京都 がん治療と仕事の両立に関する患者アンケート

<u>l.</u>	あな	た御目	<u> 身のこ</u>	とにつし	<u>いてお伺い</u>	します。	<u> </u>					
問	1 ! !	割(〇	は1つ))		O1 5	男性		02 女性		03 🕮	答しない
問	2 \$	齢				現在の	年齢		歳	がん罹患時	の年齢	歳
問	З ў	在治療	中のがん	っと過去に	こ治療してい	たがん	の がん種	(Oはいく	つでも)	-		
	01	肺がん		02 🗊	道がん	03	胃がん	1	04 大腸	がん	05 肝	<u>-</u> がん
	06	膵臓が		07 🖁			前立腺		09 腎・			跳がん
	11	子宮が				_ -	白血病	İ	14 悪性	リンパ腫	15 3	()
Г					客 (Oはいく			04 +11	T)::=\+ C	_ ++ ; :=\+	. 00	7 m/h /
問	01 5 =	<u>-</u>		物療法(1) (Oは1)3 放 月1回	水泉治療	04 세	1.1 回以上	03 年1[その他 () <u>)</u> O4 年1回未満
	о в 6-1			大況(OI		月1四	ИL _	UZ 3/Ji		05 411		
						02	個人主業	主(白岩紫)	としては経り	ている⇒問7	<u>V</u> 03	 就労していない⇒
	Οī	正未。它	到 本 (1 0)	グムノくてが	M) O C(1/2)	02						<u> </u>
	▶≪	問6-1	で 「0	1 企業・	団体等の法	人で就送	うしている	ら」を選ばれ	に場合のみ	\ >>		
		問6-2	2 現在	の就労服	態(0は1	つ)						
		01	役職員	02	正職員 0	3 契約職員	•嘱託職員	04 N°-1	• 7/1/1° 1	05 派遣職員	. 06	その他()
		問6-3	3 現在	就労して	こいる法人全	体の正規	見職員数の	の規模(〇	は1つ)			
		01	1~29)人 02	2 30~49 .	人 03	3 50~9	9人 04	100~29	9人 05:	300 人以	止 06 分からない
▶ 問7	7 業	種(主な	力業事犯	溶)(自	由記載)			ļ.		·		i
Ш	新型	コロナ	ナイルス	ス感染症	Eの感染拡	大に伴	う変化し	こついてお	ら信いしま	<u> </u>		
										<u> </u>	₹) • 時 差 1	出動制度・フレック
		スタ	イム制度	き等の柔!	吹な働き方か	導入·推	進される	などの変化が	がありました	こか。(Oは 1	つ)	
	01	仕組みれ	がないー	相9个		02	2 新たに	算入された	03	今までもあっ	ったが活用	が 推進 された
	04	今まで	もあった	が特段の)変化はない	L		O5 欠	からない	問9个		
		問8-1 選ばれた			尊入された」	「03今	までもあ	ったが活用	が推進され	た」「04 今ま	でもあった	たが特段の変化はない」
		問8-2	2	ような#	度等があり	ますか。	(Olti)	くつでも)				
		01	テレワ	ーク(在	宅勤務制度)	02 フレ	ノックスター	イム制度	03 時	出勤制度	£
		04	所定労	働時間を	短縮する制	度	05 晴	9単位の休	踹度	06	炸次有約	休暇の積立制度
		07	その他	のがん治	療などを目	的とした	たけままり	隻 08	その他()
	問8-3-1 その制度等を利用していますか。(Oは1つ)											
		01	利用L	ている	/したことか	ある⇒	問8-3	-2 ^{\(\)} C)2 利用し	こい/する予?	走⇒問9/	7
		03	3 利用 9	するつもん	つはない一層	38-3·	-3^					
	ļ i.	・・▶≪問	8-3-	-1で「(D1 利用し	ている/	(したこと	がある」を	選ばれた場	合のみ≫		
		問8	-3-2	2 利用 L	たことで治	療などの	療養生活	5や働き方に	影響 を及ほ	ごしましたか。	(Oltu)<	くつでも)
		【治	療などの	の療養生	 活】							
		Г				治療できる	ようになっ	F 02	治療スケジュー川	が調整しわすくな	of O:	3 身体的な負荷が減った
	O1 以前より気持ちに負担なく通院治療できるようになった O2 治療スケジュールが調整しやすくなった O3 身体的な負荷が減った O4 精神的な負荷が減った O5 感染症に対する不安が和らいた O6 身体的な負荷が増えた O7 精神的な負荷が増えた											
					する不安が			その他(-511150	X13.01B, 0.0)	10 特段の影響はない
		【働	き方】				1	_ , ,			<u> </u>	13
				間に合わせた	こ勤務ができる	ようになっ	of O	フ 有給休暇を過	 	きむようになった	O.3 涌	勤が減りストレスが減った
					・ルが調整しやす		<u>.</u>		型がただ。 動物に対している。 動力が大きくなった。		<u>L</u>	動が過ぎた。 りストレスが増えた
)機器などに			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·)	09 特段の影響はない

·····▶ 《問8-3-1で「O3 利用するつもりはない」を選ばれた場合のみ》

問	8-3—3 それは なぜ ですか。(Oはいくつでも)									
	01 利用対象ではない	02制度等が使いづらい	03業務に支障がある	O4 職場に使いづらい雰囲気がある						
	05 上司等に言いづらい	06体調に不安 07 使	う必要がない 08 その他 (() O9 特に理由はない						

問9 新型コロナウイルス感染症の感染拡大後、治療などの療養生活や働き方について考え方や気持ちの変化はありました
か。(OはNくつでも)

	01 現在の状況に満足している	O2 治療と仕事の両立はよりしやすくなった	03 柔軟な働き方ができるようになった
	O4 治療と仕事の両立はより困難になった	05 柔軟な働き方ができずに不満	○○ もっと病院の就労に関する配慮・支援がほしい
	O7 もっと職場からの理解や支援がほしい	O8 病院・職場に限らず社会全般の理解が必要	09 通勤中や勤務中の感染が不安
	1〇 がん罹患を理由とした解雇や退職勧奨が不安	11 治療スケジュールが変更されて体調の変化が不安	12 正し 情報が得られない
	13 その他 ()	14 特に変化はない

問10 その他、新型コロナウイルス感染症の感染拡大後、がん治療と仕事の両立について良い影響や悪い影響を感じることがありましたら、御記入ください。(自由記載)

Ⅲ. 御自身の病状等の理解についてお伺いします。

	問11 御自身の病状や見通し、治療スケジュール等について、 十分に理解 できていると思いますか。(Oは1つ)						
		O1 十分に理解できている O2 ある程度は理解できている O3 あまり理解できていない O4 理解できていない					
問12 病状等を十分に理解するためには、 どのような支援等 があれば効果的だと思いますか。(Oはいくつでも)							
		O1 説明内容が記載された用紙の配布 O2 病状等に関するリーフレット等の配布 O3 治療やスケジュールの一般的なモデルの提示					
		O4 相談窓口等での個別説明 O5 病状等を聞き取るための用紙の配布 O6 その他() O7 特にない					

IV. 病院と職場における患者情報の共有についてお伺いします。

問13	御自身の仕事内容などを主治医など病院関係者に伝えていますか。	(O(t, 1, 2))
	時日2071年73日なこと上7日278C/73763117日に日71.CV で373。	

O1 伝えている O2 ある程度伝えている O3 あまり伝えていない O4 伝えていない

問14 主治医等が、病状の説明や治療方針(治療方法、時期、曜日等)を決定する際、御自身の就労状況が考慮されている と思いますか。(Oは1つ)

01 されている 02 概ねされていると思う 03 あまりされていないと思う 04 されていない

問15-1 がんに罹患したことや、病状・治療計画、職務上配慮してほしいこと等について職場に**伝えていますか**。 (〇は1つ)

01 伝えている 02 ある程度伝えている 03 がんに罹患したことのみ伝えている 04 伝えていない⇒
問15-1で「01伝えている」「02ある程度伝えている」「03がんに罹患したことのみ伝えている」を選ばれた場合のみ≫

問15-2 職場からの職務上の**配慮**は得られていますか。(Oは1つ)

01 得られている 02 概ね得られている 03 あまり得られていない 04 得られていない

問16 治療と仕事の両立について、職場に**求めること**はありますか。(Oはいくつでも)

O1 柔軟な働き方の推進 O2 経営層による両立の方針の提示 O3 職員(社員)のがんに関する知識の習得や理解の促進

O4 両立しやすい職場の雰囲気 O5 治療に関する支援制度等の充実 O6 職場の相談体制の確立

 07 産業保健スタッフの設置・充実
 08 その他(
 09 特にない

V. その他

問17 治療と仕事の両立全般について、御意見がありましたら、御自由に御記入ください。(自由記載)